

ヒイラギ ＜柊・柊木＞	学 名 Osmanthus heterophyllus 別 名 分 類 モクセイ科モクセイ属（常緑小高木） 分 布 本州（福島県以西）、四国、九州（祖母山）、沖縄、台湾 用 途 庭木、公園樹
解 説	山地に生え、高さ4～8mになる。葉は長さ4～7cmの楕円形または倒卵状長楕円形で先端は刺状にとがり、ふちに刺状の鋭い鋸歯が2～5対ある。老木では全縁のものが多い。表面は光沢がある。11月葉腋に芳香のある白い花を束生する。花冠は直径約5mmで4深裂し、裂片はそりかえる。雌雄異株。果実は長さ1.2～1.5cmの楕円形で、翌年の6～7月に黒紫色に熟す。
	枝・葉
	幹
	花
	実